

時間割コード	G2B40704	開講年度	2026				
授業題目	メディア心理学				担当教員	佐藤 広英	
英文授業名	Media Psychology						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限	対象学生	全
講義室	東洋計器講義室（20番講義室）		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学DP 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				メディアに関する社会心理学の理論・知見を説明できるようになる。学習した理論・知見と，現代社会にみられる問題・現象との関連を指摘できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	我々は，日常生活において，スマートフォンやテレビ・ゲームなど，さまざまなメディアを用いている。これらのメディアは，我々の心理や行動にさまざまな影響を及ぼす。この授業では，インターネット，テレビやゲーム，広告の影響について具体的な事例と共に社会心理学的観点から概説していく。毎回出席確認を兼ねたりアクションペーパーの提出を求める。						
(5)授業のキーワード	心理学，メディア，ゲーム，インターネット，広告，論理的思考						
(6)授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 テレビの社会心理学：乳幼児への影響 第3回 テレビの社会心理学：学力，社会的側面への影響 第4回 テレビの社会心理学：親の役割，マスコミの影響 第5回 ゲームの社会心理学：ゲームとは，ゲームへの接触 第6回 ゲームの社会心理学：認知能力，攻撃性への影響 第7回 ゲームの社会心理学：社会性への影響，アニメーション 第8回 インターネットの社会心理学：ネットコミュニケーションの特徴 第9回 インターネットの社会心理学：ネットいじめ，炎上 第10回 インターネットの社会心理学：ネット依存 第11回 広告の社会心理学：広告とは 第12回 広告の社会心理学：消費者の認知的処理 第13回 広告の社会心理学：説得コミュニケーション 第14回 広告の社会心理学：要請技法，統計のウソ 第15回 まとめ（最後の15分は授業アンケートの時間とする）						
(7)成績評価の方法	中間レポート（50％），最終レポート（50％）で評価する。						
(8)成績評価の基準	レポートは，授業内容を十分に理解しているか，授業内容を現代社会にみられる問題・現象と関連づけて考察できているかを判断する。具体的には以下の通りである。 「卓越している」：授業内容を非常によく理解し，現代社会にみられる問題・現象と適切に関連づけ，優れた考察ができています。 「かなり上にある」：授業内容をかなり理解し，現代社会にみられる問題・現象と関連づけ，適切に考察ができています。 「やや上にある」：授業内容を十分理解し，現代社会にみられる問題・現象と関連づけている。 「水準にある」：授業内容を最低限理解している。						
(9)事前事後学習の内容	事前学習として各回の授業で扱う内容についてシラバスや参考書を読んで予習しておくこと。事後学習として，各回の配布資料をもとに復習を行うこと。 60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	授業期間中，調査や実験に協力してもらうことがある。積極的な参加を望む。						
(11)質問，相談への対応	eALPS内のフォーラム（掲示板）またはリアクションペーパーにて受け付ける。						
(12)授業への出席	すべての回に出席することを基本とする。授業の出欠は，リアクションペーパーで確認する。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は，共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなうこと。						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	坂元章（編），メディアとパーソナリティ，ナカニシヤ出版，2011 湯川進太郎・吉田富二雄（編），スタンダード社会心理学，サイエンス社，2012						

【参考書】	李光鎬・渋谷明子（編著）,メディア・オーディエンスの社会心理学改訂版,新曜社,2021 その他,適宜紹介する。
-------	--